

第3回PTA部会 議事録

(1)日 時：令和8年3月5日（木）午後7時より、（教育会館 第5研修室）

(2)参加者：委員（9名）、欠席2名、事務局6名

(3)内 容

①部会長あいさつ

②資料説明及び意見交換

- ・スクールバスについて
- ・ジオアリーナ周辺の動線と通学方法について
- ・新中学校のPTA組織・同窓会について

③その他

《部会長あいさつ》（省略）

《資料説明及び意見交換》

（スクールバスについて・ジオアリーナ周辺の動線と通学方法について）

部会長 ・レジュメにしたがって部会を進めさせていただきたい。それではまずスクールバスについて、さらにジオアリーナの周辺の動線と通学方法についてのこれまでの経緯を含めて、事務局の方から説明をお願いしたい。

事務局 ・それでは私の方から説明させていただく。2回目の部会を11月にしてから庁内とか、関係課と相談した中で、若干の変更もあるので、そのことを中心に説明させていただく。レジュメには（1）と（2）とあるが、一括して説明させていただく。まず資料1をご覧ください。これは基本的な考えということで、書いてある内容は前回と同じになり変わったところはない。次に資料2をご覧ください。A3になるが、全部で12路線、これも基本的には変わっていない。11番鹿谷方面2とあるが、このところで赤丸で囲んである部分がある。後ほど協議していただきたいことがあるので、その時に説明させていただく。引き続き資料3をご覧ください。ここは前回と変わっている。前は生徒が乗るバス停の時間からスタートになっていたが、実はバスはもっと先から出ている。つまり、住民の方も乗ってもいいので、例えば猪野瀬方面だとそのまま始発が生徒が乗るバス停と一緒になる。しかし、2番目中部循環線になると、7時39分に違うところから出ている、生徒が乗るのは7時46分からになる。このようにすると例えば遅羽は7時9分になる。始発はものすごく早いことになる。これは一旦下荒井まで行く。そこから戻ってきて中学生が乗るというパターンになっている。それが前回から付け加わっている。それから若干乗車時間を考慮して、着くバスの順番も変更してある。乗車時間が短いバスほど大体早く着くことになる。長く乗っているところは遅く着くというように工夫してある。そこが変わった点になる。次は資料4になる。これも同じだが一番右を見ていただくと小型28人乗り4WDだが5台買うように予定している。次の中型だと44人乗りになるが、これも5台買うことにしている。それから北谷方面と野向方面、これはコンピューターということで13人乗りの4WD。これを2台ということになっている。購入バスは何も変わっていない。何が変わったかという一番下に308と書いてあるが、この間までは306だった。この年度末になって転出入がある。例えば、6年生の子が合格して私立中学校へ行くとか、あるいは逆

に転入で入ってくる。最新の今分かっている人数に直した結果になる。そこで出入りがいろいろあるが、合計すると2人増えていることになる。県の方も最新のものということだったので今の段階で直したものになる。しかし8年度が始まる時にはまた少しずれるかもしれない。次に資料5をご覧ください。これは動線になる。関係課とも相談したところ、車で送迎の場合はこの赤っぽい線に従って入ってきていただく。いろいろなところに駐車をされると、事故のもとにもなりかねないので、この一番右の上の送迎の車の乗降所、乗るのも降りるのもここでお願いしたい。たくさんになったら後ろについていることになる。ここで生徒を乗り降りさせていただきたい。生徒はそのまま紫のラインになるが、一番上の駐輪場のあるところの前が横断指導線といって横断歩道の代わりになっているところになる。ここを歩いて行って、あとはジオアリーナの建物に沿って歩いていただく。ここは分かりにくいから何か印をつけるとかゾーンを塗るとか対応は考えたいと話し合っている。それからバスは同じように回っていただく。場所は1番、2番、3番に止まることになっているが、3番で止まったあとはぐるっと回らずにそのまま反転して出ていく。それからここには自転車は入らないということにしている。特に冬になると除雪の関係もあるので、この辺りはきちんと守っていただきたいという関係課との話になっている。最後に資料6になるが、これも最新の数字を入れたので、バスのところの一番下を見ていただくと、306名から308名に増えていることになる。前回と同様、1.5kmから3kmの生徒はどうするのかということだったが、ここは原則はバスになる。特別な申請書により自転車通学を判断するので、出したら全員自転車を許可するというものではないということになる。だから原則は1.5kmを超える生徒の皆さんはバスに乗っていただきたいということにしている。以上になる。

部会長 ・ 昨年の11月の第2回PTA部会の時に皆さんにも承認いただいた内容から、変更内容についての説明があったが、もう一度簡単に整理したいと思う。まず一点目が、スクールバスの路線図でいうと鹿谷線2で少し変更があるという話を聞いたが、これについては皆さんのいろいろな意見を伺って、協議事項になるので、後ほど見ていただければと思う。次の資料3の発着時刻表だが、これは内容の変更というよりも、始発バスの時刻が追記されて、さらに発着の時刻によって路線名がテレコになっている。おおむねこのバス路線の発着時刻についての大きな変更は特にないということ。大きく変わるのが、最後に説明いただいた資料5であるように、まず送迎の車が前回の時には、赤の路線でずっと上がって行って、大野方面に行く人も福井方面に行く人も点線に沿って出て行っていただいて、福井方面の人は1回出てからぐるっと回るものだったが、その場所でぐるっと回るということで説明があった。ここで生徒を降ろしたのちに大野方面は従来の形で点線に沿って帰っていく。福井方面の人は少し交差するが、入ってきたところをもう一度戻っていただいて、信号を右折して帰っていただく。これが大きく変更になったところかなと思う。生徒さんが学校の方へ向かうところだが、送迎車の乗降所から降りた場合に前回の場合はこの紫よりもっと下のところでこのあたりを抜けて学校の方へ行き、また帰ってくるとなっていた。今回の訂正ではその乗降所からこの上のところ、要は駐輪場のところの際を通過して、通常の正しい流

れで、学校まで入っていただく。もしくは学校から帰っていただくという変更内容かと思う。あと人数が306名から308名で変わったというところが、今回の変更点だ聞いていて認識したが、今の説明をいただいた件について、何かご意見とかご質問とかあればお願いしたい。特に大きく変更というわけではなくて、さらに安全面を考慮してのことかと思う。大体、変更内容についてはご理解いただけたか。

委員1 事務局
・バスの始発の利用についてだが、一般の方はどれぐらい使われているのか。
・当初からこのバスの大きさで、一般の方も乗れるのかどうかということも関係課と話した。数人利用されている。そこで、おそらく吸収できるだろうという予測になる。路線によってはもうほぼ利用がないところもある。おそらく乗られる方も病院とかサンプラザとかだと思うが、時間が早い。市全体としては、この朝夕以外の間の時間はフルデマンドバスを運行することにしていて、一般の方はバス停からバス停まで直ぐに行くことができるような仕組みを考えている。

委員2 部会長
・資料はないが、確か昨年調査していた。
・路線によっては出発時間がかなり早い。高校とも時刻を相談している。一般の方は早く出る。まだ病院とかは、やっていない。

委員3 事務局
・路線については12路線でいくということで、次のアクションとしては令和8年度当初予算で、この12台がちゃんと確保できるかということかなという気がする。そこの辺りで、何か情報があればお願いしたい。別に多く買える分の予算がついたら嬉しいが、実は10台しか無理だったとなると根底から崩れてしまうので、そこの状況だけ分かることがあればお願いしたい。

事務局
・今とにかく議会中で最終日まではまだ分からない。申し訳ない。要望はしている。

委員4 事務局
・バスのことでよろしいか。流れとか台数とか人数とかは分かった。何が心配かというのと令和9年にこれが動き出すが、子ども達が果たしてバスに乗る文化がないので、乗る練習というか、少し示していただいたのは1回見ているが、例えば、九頭竜中学校だと通学を3回練習している。危険な場所がないかとかの確認をしている。例えば夏とか冬とか、そこでちゃんとバスに乗れるかどうか、そこをクリアしておかないと乗ってこないと思う。その辺りの計画、今の段階で分かっていることがあったら示してもらいたい。

事務局
・体験乗車の話かと思う。一応計画はしているが、バスの納車の時期に絡んでいろいろあってなかなか厳しい。いろいろ話をすると、すぐに納車というものではない。来てからでないと体験乗車が見込めないという状態である。

委員5 事務局
・似たような車ではだめなのか。やるかやらないかの前提で言ったらやるということを決めるのなら、別に同じものでなくてもいいし、絶対に同じものでやらないといけない仕様なら、待たないといけないと思う。

事務局
・12台の確保が難しい。

委員6 事務局
・12台ではなくても、順番にすればいい。

事務局
・その予算が今は難しい。

委員7 事務局
・そういうことか。何か方法はないのか。練習しないと果たして決めていいのかどうか。

事務局
・練習はするが、まだ時期などが言えない。

- 部会長 ・これは当初予算で来年度の入札になると思うがだいたい入札の時期はいつ頃になるのか。
- 事務局 ・入札は補助金の対象になっているので、5月とか6月になってしまう。バスはそれからになる。
- 部会長 ・結局早く買っても維持費というか、そういう費用は当然発生してくるだろうし、その兼ね合いなのだろうが、基本的には体験はするのか。
- 事務局 ・しなくてはいけないと思っている。今はいつになるかは言えない。
- 部会長 ・今言われたような冬のバージョンとかも今の話だと難しいという気がしないでもない。少なくとも自分がどこで乗るのかというところ、家からどのくらいかかるかというところは、ある程度シミュレーションをしておいた方が確かにいいのかなと思う。
- 委員 8 ・特に小学校の先生が気になるのではないかなと思う。来年の6年生が中学校に行く時に大丈夫なのだろうか。自分は小学校の時に自転車の練習をした覚えはある。そのバスバージョンなのかなと思う。今ふわっと思ったが、少なからずバスは用意できました。路線はこうです。あとお願いします。では、少し厳しい。正直大丈夫な子は大丈夫でいい。大丈夫ではない子をどうやってちゃんと学校の教育と一緒に動線も同じ。スクールバスもそこをケアしていつてそれでもおそらくイレギュラーが起きる。だからそこは結構必要かもしれないと思う。できる限り、諦めずをお願いしたい。
- 部会長 ・やるにしても、個々人に委ねてもしかたがない。例えば育成会とか、ある程度まとまって、地区地区でやらないといけない部分があるだろうと思う。その辺のところを連携してやっていく必要があるのかなと思う。今度いついつこれやりますからと家庭に配ったところで、動いてくれることは少なくなると思う。今、答えられるところがここまでで精一杯かと思うがどうか。
- 委員 9 ・計画はざっくりとは聞いたが、学校としては計画を早く入れたい。夏休みとか冬休みになるのだろうと思うが、お願いしたい。
- 委員 10 ・この車の動線はより自然になったということになる。以前は強制的に一方通行で向こうに回していた。
- 部会長 ・そういった意味で、ここは自転車は通させない。車が行き来になる。またさらに自転車通学で駐輪場に入ってくると非常に危険になる。一応そういったところを配慮して、車が交差できるような形になっている。実際どのくらいの車が来るかによって、どれくらい渋滞するのか、それはなんとも言えないところがある。実際に状況を見てある程度いろいろ対応していくしかない。
- 委員 11 ・気になったことが、送迎車の乗降所で何台ぐらい停めることを考えているのか。雨や雪の日や冬になると徒歩通学が149人いて、ひよっとすると自転車通学の子も何人かいて、同じ時間帯に車で集まった時に渋滞するのではないかな。ライン引いてサインかなんか立ててというわけでもないと思う。結局そうなる、中の駐車スペースに入れて、乗降する形になるのかなと思う。その辺は何も乗降所として問題はないか。
- 事務局 ・乗降所の区切りは今は考えていない。まずはできるだけバスに乗ってくださいが先で、雨が降ったらバスに乗らないというのは少し困る。
- 委員 12 ・1.5kmまでは徒歩になっているので、雨が降ったり、風が強い日になると親御さんが送迎したりするのではないかな。

- 事務局 ・最初は見ていないといけないかもしれない。こちら辺で状況を把握しないと
とは思う。
- 委員 13 ・スクールバスとは少し離れるが、今、獣害とかクマとか、街中とかにも出て
いたりする。徒歩の子どももそうだが、バスは時間内に来るとは思うが、待
っている間、例えば一人しかいないバス停もある。そんな時、小学校では送
迎で送り迎えをしているが、中学校の場合は、例えば送迎が増えた時、徒歩
通学の子がそういうふうになる可能性があると思う。そういった場合もジオ
アリーナが発着所になると、クマが出た場合というのはどういう対応になる
のか。また、先ほど言われたように、冬のことで特に歩道のある乗降所でこ
こは歩道と車道で雪が全部取れるわけではないので、ここで乗り降りする時
にどうするのかということが必ず問題になってくると思うし、その辺は誰が
除雪をするのか、地区の人に任せるしかないのか、自分たちでするのかとい
うことも考えていかないといけない。
- 事務局 ・クマが出るのに、一人で待たしておくのかとか、そうすると送迎が増えるの
ではないか。それは予想されることだと思う。やはりその時に相談して、ど
ういう方法が一番いいのか、地区で見守っていただくのか、送迎にして機械
的に一方通行で回っていただくのかということはあると思う。その時に考え
ないといけないと思う。それから歩道の除雪に関しても、冬になると主要幹
線道路を通っているので、停留所のところに雪がどんととある場合もある。
こういう時にはもう少し離れた空いているところに停まるとかそういう工
夫はしていかないといけないと思う。少し状況を見ないと何とも言えない
が、そういった懸念はいろいろ出てくると思う。
- 部会長 ・最初例えば何人か、警察とか指導員が立つとかということは可能なのか。
事務局 ・全地区になるので難しいのではないかな。
部会長 ・全地区ではなくて、例えばこの車が増えた時に、気になるのが、トンネル
の方から来た時に、ジオアリーナの曲がりのところは3車線もある。本線二
つと左側。左入った時に後ろ車が来ていなかったらここで停めて降ろしてし
まうのではないかという気もする。そうしたら行きなさいとか、しばらくは
見ないといけないのかという感じはする。
- 委員 14 ・ここで降ろさないでくださいみたいな。
部会長 ・もし上のところが渋滞でもしていると、ここで降ろして真っ直ぐ行ってしま
うかもしれない。
- 事務局 ・もともとバスに乗っていただきたいということなので。
部会長 ・今のは、クマとかでそういう時にはどうしても車でとなる。
事務局 ・そういう状況になった時は相談して、何かしないとけない。
部会長 ・その辺も少し考慮いただきたいと思う。
- 委員 15 ・今、除雪の話も出たので、以前どの部会かは忘れたが、勝山高校の除雪のと
ころで、勝山高校はPTAで除雪費を見ている。一緒になった時に勝山中学
校の方のPTAでもそういった負担ができるかということで確か会長さん
から話があったと思う。要はジオアリーナの動線も含めて、除雪はしないと
いけないが、ここは例えば市が見ますよ。例えばここからは学校として見て
くださいよということが、今ではないが、はっきりしてほしいと思う。なぜ
かという場合によっては勝山中学校のPTAの中で除雪費を見ないと

けないというところは、今まで想定していない。現中学校も想定していないので、今負担金だとかいろいろなPTAの中のやりくりをした時に、実は除雪でこれぐらいかかることが想定されて、それを割り返すところといったことやっていないといけないということを後々知るのでは全然話が合わない。課題としてはっきりした方がいいという来年への思いになる。

部会長 ・その件は前回の話だが少し出ていたかと思うが、検討はしたのか。
事務局 ・関係課とも相談をされていて勝高の今除雪されている状況もあるので、市がどういうふうに関わっていくのか、勝高との話もあるので現在協議中ということになっている。

委員 16 ・引き続き協議をお願いしたい。

部会長 ・他にはどうか。前回からの変更点の説明内容についてのご意見ご質問についてはこれでよろしいか。それでは今いただいた意見の検討をお願いして、さらにブラッシュアップしていただければと思う。

(志田区からの要望について)

部会長 ・それでは次に最初に出てきた協議事項として皆さんに聞かなくてはいけない新たな事案が出てきたので、それについての説明をお願いしたい。

事務局 ・先ほどの鹿谷線 2 の話になるが、実は鹿谷町の志田区から要望書が出ている。要望の内容としては、今事務局としては、雇用促進住宅前を停留所としていたわけだが、志田区からは志田ふれあい会館前というバス停が区の中にあるが、そこに変更をまた追加を要望するということで要望書が出された。総会皆様に諮ったところ全会一致で要望することになり、署名も取られて、市長と議会議長、それから教育長に提出された。具体的な課題としては、七つあげられている。

・読み上げると、区内の中学生が停留所まで徒歩で行くのは三つの市道を通るルートがありますが、志田区の住宅の配置から考えると真ん中の直進で進む市道が通学路になります。この市道沿いは田んぼのみの区間が 300 m 弱続き、車もスピードを出して走る道です。

要するに下の方に小学校がある。ここからずっと下ってくるわけで、現在はまっすぐ行くルートを考えている。この県道でこの雇用促進住宅前で乗ってくださいということになっている。こちらに志田地区があるが、ここに 5 名対象の生徒がいる。この 5 名は歩いてくださいということになっていたが、以下の課題によりふれあい会館前にバスが通ってほしいという要望になる。今の 300m はここになる。ここが田んぼばかりで吹きさらしになるということになる。戻って課題 1、この市道を通学路とする場合は、車道と歩道の区分がなく、通学路としての安全が確保できない。田んぼ沿いの道であることと、車道と歩道の区分けがないため、強風、積雪、アイスバーンになった時の交通事故の危険率が非常に高い。課題 2 は市道から県道を横断する必要があるが、そこには横断歩道がない。離れたところの横断歩道を歩くと、今度は時間的ロスが発生する。課題 3、通学路として、雇用促進住宅停留所までの市道除雪を誰が担当するのか。課題 4、近年クマ、イノシシ、サル等が近隣または当市道で確認されており、獣害リスクがある。課題 5、雇用促進住宅停留所の傍らには人家がなく不審者が出た場合、対応が困難、課題 6、雇用促進住宅停留所は単に県道傍らに表示板のみの停留所であり、雨、風、

雪等から守る対策がなされていない。課題7、雇用促進住宅停留所までの徒歩で歩く距離を算出すると、300 m～600 m弱になる。天候不順で歩くスピードが遅くなり、バスに乗れなくなった場合の車での登校増加が懸念される。これが課題になる。事務局としては、まず基本的な考えとして、この勝山市全体のバスルートを考える際に、まず通学時間を考えた。乗車時間はできるだけ短くして、家を出てから学校へ着くまではどんなにかかっても1時間以内には着かないといけないということで、大体このバス停は住宅から半径500 mぐらいに収まるように考えている。バス車両も今よりも大きいバスを買うことになるので、やはり通る道は、主要幹線道路を中心に考えさせていただいた。そこで乗車時間はどの路線も30分以内になっている。一番長い路線で、平泉寺線の30分になる。この鹿谷線2は実は20分という想定になっている。あとは歩きがあるので、それを足して来ていただきたいということで、大体半径500 m以内に入るようにしている。実際、500 m以上のところもあるかもしれないが、そこまでは歩いてきてくださいということになっている。書いてあるが、雇用促進住宅まで歩いていただくと、300 m～600 mの皆さんになる。実は小学生はもっと歩く。ここに出てきてからまた学校まで行くのでさらにたくさん歩く。中学生は今までどうやって通っていたかという、北部中学校までは自転車、もしくは送迎の車という形になっている。事務局としては、現在の路線でお願いしたい。そこまで歩いていただきたい。しかし、住民の全体の署名があるので、通れないのかと言われると、通って通れないことはない。しかし冬はその道は細い。あるいはどうなるかなということがある。実はここを見ていただくと分かるが、雇用促進住宅のバスはここにある。真っ直ぐに行って戻るというわけにはいかない。もしふれあい会館前に入ることになれば、こちらの中部縦貫道へ行く道から大きい交差点をいって、一旦こっちへ入ってくる。実は雇用促進住宅前で乗る子も一人いる。そしてここからが細くなるが、ここをずっと行って、保田のところへ出て、回ってくるということになる。若干5分ぐらいは伸びるかなという感じになる。これが今皆様に見ていただいている。鹿谷には2路線あるが、今の路線は北西又から出発してずっと降りてきて本郷、片方は矢戸口から出て本郷にやってくる。同じ道を通ってきて矢戸口からの線は今言ったように中部循環道へ行く交差点を保田の方へ大きく入っていく。保田へ入って行ってまたここへ出てくるのが矢戸口から来る路線になる。もう一つは本郷から来て真っ直ぐに行く路線だった。今のことをすると、ここで1回中部縦貫道の方へ振っていただいて、雇用促進住宅で入って、同じ道へ抜けて出るということになる。他地区でも、状況によっていろいろなことが出てくるだろうということも予想されるので、500 mか600 mは歩いて行っていただきたい。ただ、これは議会にも出ている案件でございまして、今日は皆様の考えをお聞きして、こんな意見がありましたということをお伝えさせていただきたいと思う。

- 部会長 ・ちなみに今の話だが、ふれあい会館から鹿谷小学校まであの道をずっと上がっているが、大体距離は1.2kmで歩いても20分ぐらいは小学生は歩いている。逆に、小学生は1.2kmも歩いているのにどうなのかという思いはある。
- 委員1 ・この課題を解決するために歩かせないというのであれば、小学校の子達にも

これは該当する。課題解決は逆に小学校の子に対してやってほしい。冬場は志田の住宅街はバスは入ってこない。逆にバスが入ってこられると除雪がちゃんとされていないので、すれ違いができない。バスが志田を下って行って、突き当りの方へ行くと思うが、その川沿いは凍るので逆に車が危ない。僕もどちらかというところに乗せるとするのは反対。4、5分のロスが出る。県道に出てさらに下りたところに横断歩道がある。そこから回っても1分ぐらいしかない。人が歩く1分間でそんなにロスはないのではないのかと正直思う。小学校6年間、雨、風、雪を耐え忍んで歩いた。それが、半分の距離になってあとバスで行けるなら、全然その停留所がいい。

委員2 ・もちろん、この署名を出して、当然住民の意見が反映されているので、基本的には尊重しないとイケないのかな。

委員3 ・短く30分以内にしてほしいからそのままですとなると、結局わしらの言うことを聞いてくれないのかとか喧嘩になるだけになる。これを見て、ふれあい会館だったら課題解決はするのか、よく分からない資料だと正直思ったが、多分それをそのまま言うと戦ってしまう。言いたくはないが、小学校のそれとも矛盾が生じるというのは確かに思ったし、ただそれを突きつけてしまうと、それはそれで問題なのでどうしていくか。ただもしかしたら、他の若い人たちの親御さんの意見がこの住民の要望に反映されているかどうか、甚だ疑問。もしこれがお年寄りだけの意見だったら、それはバス近くなるんだしというのは十分選択される。この志田地区の方々アンケートだったり、今のそういった現状を把握されたのか、もし把握していても総意ですというなら、逆に尊重しなくてはいけないのかなと思った。この要望書というのはどうしても堅苦しいことになると思うので、これでまず受け止めるとしても、そこら辺の何かキャッチボールみたいなことはすべきなのではないか。これだけで判別するのも難しいなと思うし、逆にそれも決定権がどこにあるのかと知りたい。議会だけになるのだったら、逆にそれはそれで僕は怖い。個人的には、本当にちゃんと分かってやっているのか。決定権はここにあるかどうかもあるがどうなのだろう。

委員4 ・ここの意見は出してどうなのか。

委員5 ・突っぱねていい立場なのか、意見もありますよという話なのか。

部会長 ・突っぱねるとかではなくて、あくまで我々の総意としては一応、PTA部会としてのこういうような考え方が出てきたと、それを参考事案として、議会の方でも検討してほしいというような形になっているのだろうと思う。

委員6 ・ふれあい会館の停留所というのは風除室なので雨、風はしのげる。多分そういったことを言っているのではないか。

委員7 ・どの地区でも言える内容。

委員8 ・大事な意見だとは基本的にはまずは思う。ちゃんと考えているんだなというところは、尊重しないとイケない。

委員9 ・冬場がやはり怖い。皆さんが出て行く方向と逆でバスが入ってくることになる。高速の方に行く前にすれ違うだろう。何か事故のもとにならないかなとか。

委員10 ・バスは入ってくるし、住民の人は出ていく。

委員11 ・北部中学校へ行く時はそこで通らないのか。

- 委員 12 ・そんなことはない。結局通っている。出てくると思う。
- 委員 13 ・じゃあ、リスクは変わらない。
- 委員 14 ・中学生は自転車になる。
- 委員 15 ・小学校と通学ルートは変わるのか。
- 委員 16 ・小学校は細い路地を通っていく。
- 部会長 ・余計雪があつて歩きにくいのではないか。
- 事務局 ・少し補足させていただくと、この要望書をもって来られたのは区長さんだったが、全世帯の署名をつけて預かっている。その時に区長さんに乗車時間を30分ぐらいにして、市内全域で設定して考えているということと、人数をたくさん乗せないといけないので、バスが大きくなるということもあつて幹線道路を通ることになるから、集落内を通すのは難しいかもしれないというようなことはお知らせはしているが、やはり利便性ということを強調されておられた。今あの道は中学生が実際通行しているのに、車がスピードを出して通るから危ないという。そこはほとんど志田区の方が通られるのではないかと思うが、そういう協力もお願いしていかないといけない気がする。先ほど聞いた、保田の側に出るところは確かに道が細くて、今コミュニティバスも通っていないのか。コミュニティバスはふれあい会館前のバス停を通ると聞いている。コミュニティバスは少し大きいハイエースのようなバスなので通っているのではないか。これよりも大きいバスになるので、あそこが凍って危ないということになると、業者に委託した時に相談すると、ここはというような意見になるかもしれない。そうすると住民の方、皆さんが署名していても、無理というような判断になるかもしれない。
- 委員 17 ・何度も言うが、すれ違いは冬は絶対できないとなる。
- 委員 18 ・それも覚悟の上での署名なのか。
- 事務局 ・よくわかっておられる方が出してこられたので。
- 部会長 ・子ども達に少しでも楽にさせるといのは、やはり親心の方だと思う。
- 委員 19 ・促進住宅がいるからそちらにいかないといけないということになる。時間がかかる。
- 委員 20 ・通り抜けるには車両も大きい。
- 事務局 ・ここに一人いる。真っ直ぐ来て、ふれあい会館へ曲がるとこの子は会館まで歩いてこなくてはいけなくなる。だからもっと手前の縦貫道の方に入ってから行く。
- 部会長 ・皆さん、いろんな意見をこうしていただきながら、最終的には皆さんの総括的な形として、PTA部会としてはやはり従来の路線で行った方がいいなという案で出すかどうか。
- 委員 21 ・リスクが大きい。
- 部会長 ・地元の人でないとわからない。
- 委員 22 ・安全性を取るしかない。
- 部会長 ・冬に通れないのでは困る。
- 委員 23 ・冬場とかの課題解決にはならないと思う。でもその志田の区民の方々が、それで課題解決になるのではないかという署名なら、現実的には冬はバスが通らないので、そこを中学校の送迎のために通せるんだという疑問もある。それよりもご老人はたくさんいる。その人たちは歩いているのに中学生は歩か

	ないとか、だから、少し違うのではないかなと思ったので、意見を言わせてもらった。
部会長	・最近では地区の子ども達を守ろうという風土の中で子ども達を見守っていくという事が今の流れだと思う。親の方もやはりそういうことが懸念されるのであれば、通学のところを見ていただくというのも、一つの案なのかという気がする。今のような意見をある程度集約していただいてPTA部会ではこのような意見があったと議会に提案する。
事務局	・だれの意見とかそんなことは出さない。部会でも意見を聞いたら、こんな意見が出たというくらいで紹介させていただく。
事務局	・議会の方には志田区の事情がこういうことだと要望書が出ていて、他にもこういうところがあると思うので、市全体でバス路線を見直してほしいというような内容の陳情になっている。確かに鹿谷の路線の中でも、杉俣地区とか西光寺地区は少し幹線から外れているので、志田の子よりも歩いてもらわないといけない。もし、こういう陳情が出て志田の地区ルートが変わったとなると、杉俣も陳情すればルートを変えてくれるのかというような話になって、例えば今20分で5、6分たして、25、26分だが、杉俣も回るとどうなるか。そういう意味で、30分以内に納めているとか、そういう説明をさせていただいたが、やはり、志田区の事情のことを強調されていた。
部会長	・先ほどの課題の七つの中で3番の除雪はどうなっているのか。
事務局	・除雪は市がしている。それから県道の主要幹線は県が除雪をしている。志田区内の300mの田んぼというここは市が除雪をしている。
部会長	・そうでないと車が行けない。
委員 24	・7時半には除雪が終わって通れる。小学生が歩く歩道まで除雪をしている。
部会長	・2番は先ほどのように少し回れば横断歩道がある。
委員 25	・4番、5番は皆どこでも同じだし、6番は風雪の対策がされていないところだったたくさんあるし、切りがない。
部会長	・ここはただ看板が立っているだけか。
事務局	・はい。他にもそういうところはある。
部会長	・7番もこれを言い出したらわからなくなる。
委員 26	・基本的に3km以上の方がバスに正直乗らないとなったら、このプランで補助金も含めていろいろ破綻するのではないかと。だから乗ってもらいたいと思うので、そうすると手厚くしたいところではあるが、これを言っていると切りがない。
委員 27	・勝山市全体でこんな要望書がめちゃくちゃ出てくることになると思う。一つずつ説明して例えば課題7だったら、もっと歩いてバス停まで行く子はこれの倍歩いている子も多分いると思う。
部会長	・小学生に1.2kmも歩かせているのに中学生はその半分。天候不順になってスピードが遅くなったら学校に間に合わないのではないかと。
委員 28	・小学生はそれで遅刻をしていない。
事務局	・結構意見をいただいた。
部会長	・1から7の課題の解決策とか、これは課題として認識するのはおかしいとか、ある程度指摘できるようなことがあるのではないかと。そこを説明しないとたぶん納得はしないだろう。どうだろう。絶対解決できない課題はある

	か。これは無理だというものがあるか。
委員 29	・すれ違いができない。
部会長	・すれ違いできないというのが理由であれば、通せない理由としては今のよう な話から出てくる。
委員 30	・ふれあい会館になった時に全部課題が解決されるかどうかはこれでは見えない。 場所を指定しているということは、課題が解決されることを想定して考 えた結論だと思うのでそこがよくわからない。
部会長	・いろいろな意見が出た。基本的にP T A部会としては、やはり当初のルート 案の方がベストだろうということを総意としたい。
委員 31	・ベターか。
委員 32	・発坂に住んでいるが、約 30 分かけて小学校まで歩いている。中学校になっ たらバスだと言ったら、よっしゃみたいに言っていた。バス停までは、歩き なり、発坂駅なら自転車で行ってもいいのか。
事務局	・そこは検討して駅に止める場所があればいいのではないか。
委員 33	・別にそれはいいだろう。
委員 34	・それでも全然近いのでいい。小学校も雪がひどい時とか、クマの時は、車に なるので、その流れと一緒にバス停に送ることができなくもない。多少遠く ても安全が第一だと思う。
部会長	・確かにそう思う。
委員 35	・中学校の説明会の時にこのスクールバスに関して何か意見はあったのか。志 田区からはこうやって出たが。
事務局	・そんなに深い質問はなかった。
部会長	・基本的に3中学校区に分かれて、全部のルートを単Pの方で一応検討はして もらっている。それを受けてP T A部会の方ではこのルート案になってい る。P T Aとしてはこれで了解いただいているという認識でいた。
委員 36	・路線図というか、既存利用している素案になる。そこを突っ込みだしたら切 りがない。スクールバスもそうだし、市内のコミュニティバスとか、いろん な福祉も含めた総合的な形の流れになっている。完全なスクールバス運営だ ったら、こういった意見は尊重されるかもしれないが、前提というか、それ をやっているといういろいろ破綻するのではないか。行政も含めていろんな福祉 サービスとか。そこはやはり理解してほしい。
委員 37	・何か一般市民から近くまで来てほしいと意見が入る可能性もゼロではない。
委員 38	・だから基準としては既存のそれを利用しているというので、30分以内、安 全性という観点でいくと、これがベターであるという形になる。
部会長	・将来的に子どもの数が変化する。今はここを通したが、ゼロになる可能性も ある。基本的にルートをいじるというよりも、停止所を少しずらすとかの方 がいい。これを毎年変更しだしたら大変なことになってくると思う。だいた い意見としては出たということで、一応P T A部会としては元のルート案で 進めさせていただきたいということでもよろしいか。それでは今の件について はこれで打ち切りたい。
	(新中学校のP T A組織・同窓会について)
部会長	・次に新中学校のP T Aの組織及び同窓会の件について、事務局から説明をお 願いする。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・1月29日に、3中学校のPTA会長、各学校の会計担当の方、そして教頭先生に集まっていたいて、令和8年度のPTA予算について、いろいろ相談させていただいた。毎年毎年繰り越し金が出る。それを少しでもいい形でということで新中学校に行く8年度の1、2年生の子はPTA会員としてその繰越金の一部を一般会計で一人1,000円、特別会計で一人1,000円、合計2,000円をその人数分、新中学校へ持ってあがるとどうかという案になる。いろいろな事情が発生するかもしれないが、今のところの案としてはそういう形で、繰越金として名目を立てるのではなくて、予備費の中に含めておくような形にしたいということになった。それでも最後に余剰金が出た場合は新中に繰り越す旨をアナウンスしておくということだった。この状況を踏まえて、場合によっては8年度のPTA会費を下げるといった学校もあつたりとか、資源回収を2回から1回にする学校とか、そういうところも出てくる。決してこのお金のために全然活動ができないということではなくて、十分来年の3年生にも活用できるようにしていこうという話でまとまった。2番は前回からお知らせしている通りになる。今度の令和8年度の入学式でも各3中学校で新中学校の委員さん関係を10名、南部と中部は4名ずつ、北部は2名選んでおくということになる。別途、新中学校の会長さんとか副会長さん等は、今進めていただいている。次にここには同窓会の資料はないが、同窓会は3中学校の同窓会費の残った分を合算して、新中学校へ新しい校旗を寄贈するという事になっている。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今説明いただいたが、これはPTA部会でどうこうできることではないが、PTA会長の方で何か付け加え等あればお願いしたい。
委員1	<ul style="list-style-type: none"> ・中部中についてはこの間の実行委員の会議で、これについて予算に組み込んで令和8年度に向かうことになっている。新中学校へのPTAにも行っていたような形で令和8年度の役員も決めた。ということで一応問題はないと思う。
委員2	<ul style="list-style-type: none"> ・南部中も大丈夫だ。
委員3	<ul style="list-style-type: none"> ・北部中は資源回収を1回減らした。
委員4	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校で、いろいろ特徴がある。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・資源回収は特別会計になると思うが、結構あるのではないかな。
委員5	<ul style="list-style-type: none"> ・学校によってそれぞれ違う。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・各中学校の総会でこれを全部説明するのか。
委員6	<ul style="list-style-type: none"> ・北部中はこの間総会をしたので説明した。
委員7	<ul style="list-style-type: none"> ・中部中は4月17日になる。4月の総会で大枠を説明する。
委員8	<ul style="list-style-type: none"> ・南部中も同様である。
委員9	<ul style="list-style-type: none"> ・令和8年度の総会が2月20日という形でもう決まっている。そこに向けて、中部、南部についてはかなり早い。かなりのスピード感を持ってやらないと大変だということが分かった。新中のところは大体決まったと思う。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・来年のある程度、途中途中の経過を見ながら進めていく。
委員10	<ul style="list-style-type: none"> ・そういうことになる。全く変わるので、来年度もこういうPTA部会の全体会議ではなくて、会長さんが集まってのミーティングみたいなことは、継続していかないと多分無理だと思う。それについては今の会長さんが引き継ぎの時に、次の会長さんに申し送りをして、そういうふうに3中学校が協力し

	てやっていってほしいというところ、この3人がすごく形を変えてPTAに残るので、そういった意味では新しい方が会長になってもサポートはできる状態になった。
委員 11 部会長	・残り1年を新しい方がすべてという負担になる。 ・そうしていただくとありがたい。また市PTA連合会でも話してほしい。松岡さんはいかがか。中学校に入ったときに、そういう役割がある可能性もある。
委員 12	・市Pの中で、新中学校に行った時に、役員の中で会長、副会長はいるとして、地区委員として資源回収なり地区のことを本当にちゃんと見れるような組織になっているかどうかという話が出た。地区委員を普通に置くと86人になる。80名弱の地区委員を置かないという選択肢は多分ないと思う。今のバス通学にしても多分いろいろなことを考えると地区委員を置かないわけにはおそらくいかない。そういった組織上は組むが、いきなりその上が例えば副会長が見るべきなのか、地区委員会の中で、例えば各3中学校の代表者を持った方がいいとか、そういったところはおそらく議論になる。そこを多分充実しないと、おそらく新中学校の市内一円のところ、会長さんで全部見てください、会長さんもローター、副会長さんもローターになるとおそらく回らないと思うので、そこは多分来年度いろいろ出てくると思う。
部会長	・確かに難しい部分だ。どういう区切りにするか。地区委員の役割の負担も増えるのではないか。
委員 13	・それを言うと切りがないが、広報委員会とかも予算は多分ほぼ変わらない。だいたい予算が少なくてもいけると思ってはいる。市内一円になったのでどういうふうに発信していくかとか切りはないが、一番地区委員のところを大事に考えないといけないのではないか。
部会長	・地区の運動会とかもある。そうなる地区委員が絡んでくるとか。
委員 14	・地区と学校の連携みたいなものを、新中学校になった時にどうなるのかと中部中の運営委員会では出た。
委員 15	・この間、南部中で学校運営協議会があって、南部中校下の公民館に今までは中学校の吹奏楽部に来てもらっていたが、新中学校になると膨大になるので、場所なんかはどうしようかというような話があった。本当は小分けをして来てほしい。大規模になるのでどうしようかと課題にあがった。
部会長	・昔の勝山中学校の時はどうしていたのか。それは来年度の課題として、それについてはまた教えてほしい。他には特に質問等よろしいか。以上でよろしいか。
	(その他)
事務局	・このレジュメに書いてあるが、次年度のことについて言わせていただく。今ほどのいただいたご意見。バスについては体験乗車のことも出たし、いろいろな場面でどうするのかということ。もちろん入札関係の話もあるがそのバスのこと。それからPTAがうまくバトタッチしていけるかという部分。さらに同窓会の部分もあるので、そういったことを引き続き、皆さんに議論いただくことになると思う。
部会長	・ちなみに来年度継続してきていただける方はおられるか。皆さん離れられる。
委員 1	・3人は違う形で残る予定。

部会長	・総会での決定になる。ぜひ中学校のPTA会長さんは来年度の会長さんに引き継いでいただいて、スムーズに会議に入れるように協力をお願いしたい。以上でよろしいか。
事務局	今日も貴重なご意見をたくさんいただきありがとうございました。それでは以上で第3回PTA部会を終了させていただく。なお再編準備委員会は3月18日に予定している。どうもありがとうございました。

資料1. スクールバスについて (案)

資料2. スクールバス路線図 (案)

資料3. スクールバス発着時刻表 (案)

資料4. スクールバスルートと乗車人数見込 (案)

資料5. スクールバス停車位置イメージ+徒歩+送迎車の動線 (案)

資料6. スクールバス利用人数予測 (案)